



(茨木市章)

(ミネアポリス市章)

姉妹都市

SCAI

ニュース

協会報

第 6 号

昭和60年 9月10日発行

編集・発行

茨木市姉妹都市

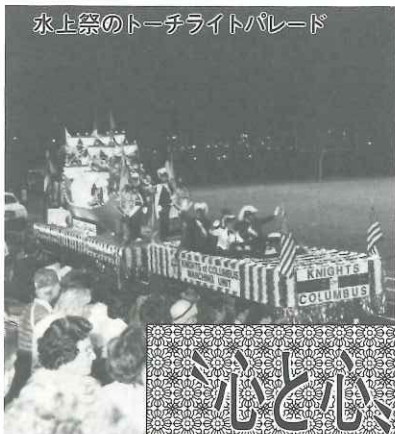
協会



ドーム球場での試合に臨む少年たち



歓迎パーティーであいさつする松村団長



水上祭のトーチライトパレード



美を披露する西田さん



ベンチからの声援も真剣

心と心の交流で忘れ得ぬ思い出

7月20日から10日間の日程で姉妹都市ミネアポリス市を訪れていた少年野球チーム・市民親善交流訪問団(松村 雄団長)一行64人は、7月29日「市民対市民」の友好を深め、無事帰国しました。

一行のうち少年野球は、アイオワ州フォートダッジでの遠征試合を皮切りに6試合をこなし、地元ゴールデンゴファーズチーム等とはつらつプレーを展開し、2勝3敗1引分けと善戦しました。

また、交流訪問団は、フレイザー・ミ市長表敬訪問、空手、青年年、婦人、フェスティバル関係者との話し合いや市内観光などのスケジュールをこなし、市民交流を果たしました。

なお、一行は、滞在中のほとんどをホームステイ家庭で生活し、心のもったもてなしを受けて、それぞれが「心と心」の交流を实らせ、忘れられない思い出をつくりました。

手を握りあって確認した両市の友好

ミ市親善訪問団団長 松村 雄

このたびのミネアポリス市への訪問に際し、茨木市長、市議会議長はじめ、多くのかたがたからご支援、ご協力をいただきました事に、心から厚くお礼申し上げます。

ミ市は、想像以上に美しい自然と人情味にあふれ、この様なすばらしい都市と姉妹都市であることを大変誇りに思いました。

ミ市長、ミネソタ州知事、セントポール市長表敬訪問をはじめ、少年野球、茶華道、空手、国際青年年等のグループに分かれての交流、ミ市最大

の夏の祭典「水上祭」の市中パレードへの参加などの公式行事やホームステイを通じて、両市民が手を握りあい、友好を確かめあったことで、所期の目的である「市民対市民」の交流が十二分に達成できたと感じております。

また、今回は、両市青年会議所に続き、茨木

オークライオンズクラブとミネアポリスライオンズクラブが姉妹提携を結びましたが、今後もこうした市民グループの交流を深め、友好親善の輪を大きく広げていきたいと思っております。

▼フレイザー市長と握手する松村団長



出迎へのミ市民と握手する若林副団長と北川相談役



歓迎パーティーで交歓する少年たち



オープンカーに搭乗
30万市民の声援に感激

府議会議員 加藤法瑛

Lake Cityといわれる美しい湖の都の「水上祭」。想像以上の歓迎せめてオープンカーに搭乗。パレードスタジアムや沿道を埋め尽くした30万市民の温かい声援や拍手に感激。

その祭りに象徴されるように心が広いミネアポリスの人々。機会があればもう一度訪問し、新しい友人のみなさまとさらに友好を深め、両市の親善交流のお役に立ちたいと思います。



湖の祭での経験は
青春の思い出に

59年度ミス茨木 西田由美

青い湖、緑の木々——まるで童話の世界から抜け出たようなまちです。

ミ市では、姉妹都市交流の使者として「湖のお祭り」でミネソタ州内とカナダから選ばれたクイーンと4日間生活をしたり、着物姿でパレードやレセプションに参加するなど貴重な経験をさせていただきました。この感激は、私の青春の1ページに大きな思い出として残るでしょう。



◀ドーム球場とダウンタウンを望む

▼積極的に交流する空手メンバー(上)、
見学したイレインギャラリー(下)



▼交流計画を話し合う団体関係者ら

▼フラワーショーのテープカット



▲パレードする加藤府議



▲声援する井岡副団長ら



◀プレゼントを渡す山本助役



立派に大役を 果たした少年たち

野球チーム代表 日並宗一

少年たちは、出発前の心配をよそに、2勝3敗1分と善戦。ホストファミリーの一員となって、片言の英語ながら意志の疎通をはかり立派に友好親善の大役を果たしてまいりました。

この貴重な体験を、今回だけのものに終わらせないよう文通等を通し交流を深め、友好の輪を広げてほしいものです。私自身もこの経験を今後の青少年育成に生かしていきたいと思います。



試合を通しできた たくさんの友人たち

キャプテン 椋本友貴

バスで約5時間かかってアイオワ州フォートダッジで行った試合、夢に見たメトロドーム球場での試合など、いろいろな試合を通してたくさんの友人ができたことをとてもうれしく思っています。

ホームステイでは、家族のかたがたに親切にしてもらうなど、これらすべての思い出を心に残し今後もがんばっていききたいと思います。



▲ホストファミリーにバットの握り方を教わる少年たち(上)、ディロン氏の別荘でくつろぐメンバー(中)、空港で別れを惜しむ青年メンバー



心の触れ合う 出会いに感謝

茶華道連盟副会長 寺門 實

ミ市では、フラワーショーのテープカットに始まり、生花・茶道のセレモニーに至るまで日本文化を通して、心の触れ合う多くの人々に出会いました。また、ホームステイにおいても心の豊かさ、大らかな人間性に触れることができ有意義な訪問だったと感謝しています。

特に生花では、思想文化の違いはあっても、道に徹するものの心と人の和の美しい姿を見ました。



活気あふれるミ市に 深い感銘

東芝労組会計幹事 釜山文吾

私の初めての海外旅行がミネアポリス市訪問になったことは、誠に感慨深いものがあります。

ミ市は、豊かな緑と湖という雄大な自然の中にコンピューターの先端企業などの産業も栄え、さらに、学術・芸術に親しむ文化のまちでもあります。市長、議長を中心に活気あふれるミ市をつぶさに見聞でき、深い感銘を覚えました。

両市のますますの友好と発展を心から祈念します。



田舎に帰ったような 気分になったミ市訪問

青年会議所監事 城谷 星

飛行機の中では、何と遠い所だろう、何度も来れる距離ではないと思いが旅でした。しかし、ミネアポリスに着くと歓迎レセプションやホームパーティー等多くの人との出会いや知人との再会があり、なにやら田舎に帰ったような気分させられ、旅の疲れや不安など忘れさせてくれました。

緑と水の美しさに見とれている間にもう帰国。もう1日でも滞在できればと思わせるようなミ市訪問でした。



空手道の交流で 熱心さに感心

空手道連盟事務局長 唐岩啓一

今回、姉妹都市への親善訪問に参加し、大変感銘を受け帰ってまいりました。

その中でも、海外の空手道団体と交流が持てたことは、これからの自分にとって意義深いものであったと思います。彼らを見て感じたことは、「優しさ」と「熱心さ」です。

今後、機会があれば、若い練習生にもどんどん参加してもらいたいと思います。

▼さようならパーティーで民謡を唄う訪問団メンバーら



6月7日、日本の伝統文化を学ぼうと姉妹都市ミネアポリス市から文化交流訪問団一行が本市を訪れ、22日間にわたって、実りある市民交流を繰り広げました。

メンバーは、ミ市で日本文化を研究する人たち12人で、市内の文化活動グループの手ほどきを受けながら民謡、書道、俳画、押絵、生花、茶道といった日本の伝統文化を熱心に学びました。

また、メンバーは、市内の各家庭に分かれ一週間にわたるホームステイも経験、心のこもったもてなしを受けました。

帰国を前に開かれた「さようならパーティー」には、文化活動グループやホームステイ家族ら200人が参加。思い出話に花を咲かせたりして、別れをおしめました。

ミ市文化交流訪問団が来茨
日本文化を市民と学ぶ



▲筆さばき、手さばきを習った俳画と押絵



日本文化を守るため
毎日練習に励む

訪問団団長 伊藤禮子

訪問したメンバーはミ市へ帰り、教えていただいた日本文化を守り、広めるため、毎日練習に励んでいます。メンバーからは、機会があればもう一度訪れたいという声もあるほどで、お世話になったみなさんといつかお会いできることを楽しみにしています。



オークライオンズが姉妹提携

ミ市ライオンズと友好の輪

今回、ミ市親善交流訪問団のメンバーとして参加した茨木オークライオンズクラブ（加藤秀治会長）は、訪問中の7月24日、ミ市ライオンズクラブとの間で姉妹提携の契りを結び、ここにまた一つ友好の輪が広がりました。

姉妹提携は、57年6月に行った茨木青年会議所に続くものです。

茨木市における国際交流の足あと

——第5号以降の経過——

(1984)

- 59・10 「姉妹都市ニュース」第5号発行
 10 ミ市民エドワード・ザラッキイ氏来茨
 10 安慶市政府訪日友好代表团（謝永康安慶市長ほか4人）来茨
 11 第1回協会英語スピーチ大会開催（市役所大会議室）
 11 茨木市訪中友好代表团（重富市長、西浦議長ほか5人）安慶市訪問
 12 安徽省科学技術視察団一行6人来茨

(1985)

- 60・1 中華人民共和国駐大阪総領事館領事鄭国仕氏、職員汪曉護氏来茨
 2 ミネソタ・ゴールデン・ゴファーズ監督ガーリー・ダウニング氏来茨。茨木市少年野球チームのミ市訪問について打合せ
 2 安徽省旅遊代表团一行5人来茨
 3 大阪府議会議員（協会顧問）加藤法瑛氏安慶市訪問
 4 協会定期総会開催
 5 安徽省訪日医療視察団一行10人来茨
 6 ミ市文化交流訪問団一行12人来茨
 6 ミネソタ大学学生ケント・A・ダルマン氏来茨
 7 第2回協会ゴルフコンペ開催（茨木国際ゴルフ倶楽部）
 7 ミ市高校教師ベベリー・ザップファーさん来茨
 7 少年野球チーム・市民親善交流訪問団一行64人ミ市訪問
 7 茨木オークライオンズクラブとミネアポリスライオンズクラブが姉妹提携を調印
 7 協会会員中山 紀氏一家（星見町）ミ市訪問
 8 協会会員森 美恵子氏（下穂積四丁目）ミ市訪問



施設見学する鄭領事と汪氏（上）、人気者のダルマン君（中）、第二回ゴルフコンペ（下）

▲ベンフレンドを訪ねた中山氏一家

国際交流にご参加を 協会会員を募っています

本協会では、国際親善に熱意を持っておられるかたがたの入会を心からお待ちしています。

会員には、会員証をお渡しするほか、協会報などにより本市の国際活動情報を提供、また、会の催す各種行事をご案内するなどの便宜をはかります。

〈会費（年額）〉 個人会員（一般）2,000円（学生）1,000円

団体・法人会員 一口 5,000円

〈申込先〉 協会事務局（市役所3階人事課）

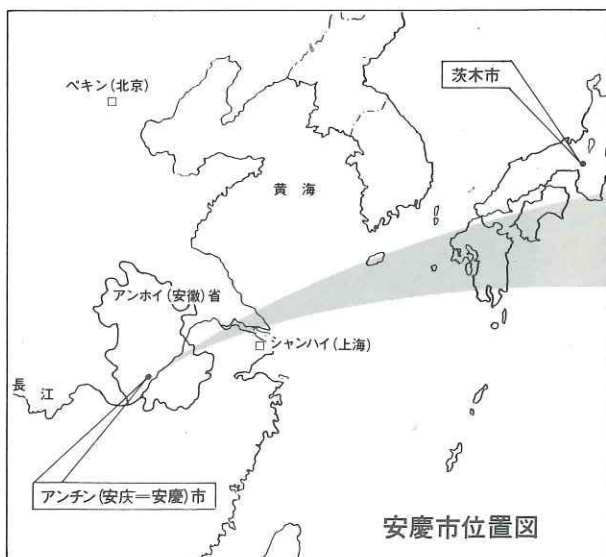
英語力向上に 「姉妹都市活動室」へ

姉妹都市活動室では、英語力および国際感覚向上のため、講演会、講習会、研究会等を原則として英語で行っています。

例会は、毎月2回、茨木市福祉文化会館内で開いています。

（木曜会）第1木曜日10時～12時

（土曜会）第3土曜日14時～16時



安慶市位置図



▲揚子江から見た安慶市と振風塔

来月、市民の長年の夢が実現 中国安慶市と友好都市調印へ

本市では、古くからの大いなる隣人である中国との友好都市提携を願い、一昨年来安徽省安慶市との友好交流をはかってきましたが、来月正式に友好都市提携の調印を行うはこびとなりました。

中国都市との交流を望む声は、1980年10月、ミネアポリス市と姉妹都市提携を結んだころからあり、「歴史的、文化的につながりが深く、一衣帯水の隣国である中国との友好促進をぜひ実現してほしい」との熱い希望が、多くの市民、有識者から寄せられていました。

このような意見、要望を背景に、一昨年7月、

▼昨年11月の訪問で友好を誓う重富市長と謝市長



には、双方から両市長を団長とする訪問団の相互訪問など行政レベルでの活発な友好交流が繰り返されてきました。

こうした約2年間の交流の中で、文化、経済、スポーツなどさまざまな分野の交流の可能性が話し合われ、長年の夢が実現するものです。

安慶市は、安徽省南部の揚子江沿いに位置し、面積は茨木市の約6倍、人口は43万を擁する華中での重要な農業地帯であるとともに、郊外には、大規模な石油コンビナートや紡績工場を有し、化学工業、軽工業、紡績工業を中心に工業化が急速に発展しています。また、36年前までは、約300

年間にわたり省都であった歴史ある都市です。

21世紀に向かって大きくはばたこうとしている茨木市が、ミネアポリス市と、そして今中国安慶市と永遠の契りを結ぶことは、世界の恒久平和を願う市民、特に将来の日本を担う青少年にとって意義深いことです。国際感覚あふれた市民社会が形成されることを願い、今後、姉妹都市協会として、真の市民対市民の交流がはかられるよう各種の行事を積極的に実施してまいります。

11月3日に英語スピーチ大会

—ご参加・ご来場をお待ちしています—

英語を通じて、21世紀を担う夢多き青少年の国際感覚を養い、国際親善と世界平和に寄与しようと昨年から始めた「茨木市姉妹都市協会英語スピーチ大会」を、本年も引き続き、次のとおり開催します。

多数のご参加・ご来場をお待ちしています。

日時 昭和60年11月3日(祝) 午後1時～
場所 茨木市福祉文化会館 文化ホール
参加資格 市内在住・在学の中学・高校生
募集人員 中学・高校生とも15人程度
実施方法 [中学生の部] 暗唱文発表(指定テ

茨木市姉妹都市協会英語スピーチ大会



▲第1回英語スピーチ大会で優勝した川村さん

ーマ) [高校生の部] 自由テーマで3分程度
弁論

申込方法 9月30日(月)までに、申込書に必要事項を記入のうえ、学校長の推せんを受けて協会事務局(市役所3階人事課)まで

協会設立5周年

記念講演会を開催

—ふるってご来場ください—

本年は、本協会設立5周年であるとともに、ミネアポリス市と姉妹都市提携を結んで5年目という意義ある年にあたります。

本協会では、これを記念し、「市民外交」の意義を広く知っていただくため、次のとおり講演会を開催します。ご家族、ご友人おさそいあわせのうえ、多数ご来場ください。

日時 昭和60年9月28日(土)
午後1時30分から午後3時まで
場所 茨木市福祉文化会館 5階 文化ホール
演題 国際社会における市民外交
講師 関西外国語大学講師 ホーリ・C・シバートさん
なお、講演は英語で行います。(通訳・岡田資子さん)



講師プロフィール

シカゴ出身。カナダ・トロント大学、アメリカ国際経営大学院等で学んだ後、日本政府通産省の奨学生として来日、日本関係の実業および経営を研究。現在は、在日米人等対象のコンサルタント会社を営むかたわら、関西外国語大学で「諸文化コミュニケーション論」を教えている。

会費の納入はお済みですか 便利な口座振替もご利用を

会員のみなさん、今年度の会費は納入いただきましたでしょうか。協会の安定した事業資金、運営経費の確保のため、未納のかたは、速やかに

に納付いただきますようお願いいたします。

なお、会費の納付方法につきまして、昨年度から口座振替制度を採用しています。わざわざ銀行窓口まで出かけなくても、指定の口座から自動的に振り込まれます。

詳しくは、協会事務局まで。